



12月のギャラリー & 県民講座

あびこ市民プラザ

◆2016 あびこアート干支展
日時 26日(土)～平成28年1月6日(火)10時～17時
問 鬼頭☎090-6187-2331

図書館 1日(火)～27日(日)

湖北台分館
◆編みもの 菜の花編みもの教室
布佐分館
◆クレバス風景画「あびこの季節～秋から冬へ」8点 小橋孝道

アピスタストリート

開館時間:9時～21時 休館日:12月28日(月)～1月4日(月)
◆障害者週間作品展
日時 1日(火)～13日(日)
(初日は12時～)
問 障害者福祉センター☎7188-0141
◆岡発戸・都部の谷津写真展
日時 15日(火)～27日(日)
(初日12時～、最終日15時まで)
問 あびこ谷津学校友の会・染谷☎7182-3972

けやきプラザ

第1ギャラリー

◆「原爆写真」と「戦後70年の取り組み」展
日時 1日(火)～6日(日)9時～19時
(初日12時～、最終日16時30分まで)
問 企画課☎7185-1426
◆第2回 梶野完二まちの風景画展
日時 8日(火)～13日(日)9時～17時
(初日13時～、最終日15時まで)
問 梶野☎7185-1700
◆水彩画展
日時 15日(火)～20日(日)9時～19時
(初日13時～、最終日15時まで)
問 出川☎7185-1184

第2ギャラリー

◆フラワーアトリエM&D 花いっぱいクリスマス
日時 1日(火)～6日(日)9時～16時
(初日13時～)
問 谷口☎7184-8902
◆二展会 写真展
日時 8日(火)～13日(日)10時～16時
(最終日15時30分まで)
問 渡辺☎7185-3817
◆R.Hama展
日時 15日(火)～27日(日)10時～19時※21日(月)休館
(初日13時～、最終日15時まで)
問 濱☎7126-2030

アピシルベ 問 ☎7100-0014

開館時間:日～木曜日 9時～18時、金・土曜、休前日 9時～20時

◆襷子と折り鶴展
日時 ～6日(日)まで
◆手賀沼写真コンクール応募作品展示
日時 11日(金)～16日(水)
(初日13時～、最終日12時まで)
◆アピストリーム「アピストdeNight☆」
日時 18日(金)18時～
◆懐かしの映画ポスター展 第12弾
～今年亡くなったスター達～
日時 20日(日)～28日(月)

けやきプラザ県民講座・講習

◆やさしい家庭の介護Part2 第4回日常生活の支援
日時 1日(火)13時30分～15時30分
場所 7階介護実習室
定員 20人(要申込)
講師 日本赤十字千葉県支部
◆初めてスマホを使いたいあなたに(NTTドコモ編)
日時 8日(火)13時30分～15時30分
場所 7階介護実習室
定員 20人(要申込)
講師 高橋さおりさん(NTTドコモ専任講師)

けやきプラザ県民講座・講習 問・問 電話で住所、氏名、電話番号を明示。千葉県福祉ふれあいプラザ☎7165-2886
受講料 無料 休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日火曜日)※専門職対象県民研修はホームページwww.furepla.jpをご覧ください。※けやきプラザ機械式駐車場は、定期点検のため14日(月)9時～17時まで利用できません。

募集 市民手づくり公園の参加団体

街区公園(市街地などにある公園)を、皆さんの創意工夫と自主的活動で、地域の特色のある公園にしてみませんか?

公園には、団体の「市民手づくり公園認定証」を掲示します。草花の種や苗、肥料、レンガなどは市が用意します。また、草刈機や電気のこぎりなどの工具も貸し出します。

対象 自治会または会員数が10人以上の地域に根ざした持続性のある団体

申・問 公園緑地課・内線594



募集 我孫子発! お見合いバスツアー いすみ鉄道 “恋活列車”と縁結び祈願

話題のいすみ鉄道「ムーン列車」を貸し切り、楽しい婚活イベントを企画しました。列車では、ゲームやフリータイムなどたくさんの人と交流していただけます。縁結びの神社でパワーをもらい有意義な時間を過ごしましょう。

日時 平成28年1月30日(土)我孫子駅北口ふれあい公園前午前8時集合、午後5時解散

内容 いすみ鉄道貸し切り列車に乗車&駅弁ランチ、いすみの出雲大社分社と国吉神社で縁結び祈願

対象・定員 独身で女性42歳まで、男性47歳までの方、男女各18人(応募者多数の場合は抽選)

費用 男性7000円、女性6000円

申・問 電話またはEメールに住所、氏名、生年月日、連絡先を明示し12月22日(火)までに我孫子市社会福祉協議会我孫子市結婚相談所☎7157-3900 wedding@abiko-shakyo.com

ミュージアム・インフォメーション 申・問 鳥の博物館☎7185-2212

楽 テーマトーク 鳥類学とバイオミメティクス ～鳥をまねた物づくり～

日時 12月12日(土)午後1時30分～2時15分(1時15分開場)

場所 鳥の博物館2階多目的ホール



内容 地球上のさまざまな場所で長い年月をかけて進化してきた生き物たち。いま、生物学者と工学者がタッグを組み、優れた機能を真似し、私たちの暮らしに生かそうという試み(バイオミメティクス)に注目が集まっています。今回は、鳥を対象にしたバイオミメティクス研究の最前線を紹介します。

講師 山崎剛史さん((公財)山階鳥類研究所自然誌研究室研究員)

定員 当日先着50人(申込不要)

費用 無料(ただし入館料がかかります)

入館料 一般300円、大学生・高校生200円、中学生以下・70歳以上無料



ぶらり あびこ散策 50

利根川とともに暮らす

みなさん、こんにちは。今回は、大利根橋付近を散策します。現在、青山から取手には橋を渡って簡単に行けますが、江戸時代は利根川を舟で渡っていたのをご存じですか。当時は青山と取手を通る水戸街道を結ぶために「渡し」が必要で、渡しは街道を通る人々にとって大切な交通手段であり、その運賃は地域の人々にとって収入源の一つでした。渡しは車が普及しても続きましたが、舟で車を渡すことは不便であったため地域住民から請願運動が起こりました。結局、国道6号が大利根橋によってつながったのは、昭和5(1930)年のことです。



▲舟で車を運ぶ様子 取手市教育委員会蔵

また、江戸時代、渡し場を含む利根川沿岸には畑がありました。川の氾濫に左右されて作付けが難しいため一般的な田畑と区別し、流作場として扱われました。そこは、ぶらりあびこ散策38回目越流堤でご紹介した田園風景の東端です。昭和23年になると、戦後の食糧増産と雇用確保のため戦地から引き揚げた人々を中心となり、耕地として本格的に整地が始まりました。しかし、利根川の洪水や度重なる台風の影響で、昭和28年になりやっと水稲の作付けができませんでした。

川を畏れながらも川からの恵みを得て暮らす先人たちの強さを学ぶとともに、戦後70年という節目の年に戦後を生きた人々の生活を想像し、今ある平和の大切さを感じたいと思います。